

第1回登別市総合計画第3期基本計画市民検討委員会防災・環境部会議事録

- ◆ 開催日時 平成 26 年 6 月 10 日（火） 17：55 ～ 19：15
- ◆ 開催場所 登別市市民活動センター「のぼりん」
- ◆ 出席部会員 部会長 江口 武利
副部会長 川島 芳治
部会員 久保田 博史
鹿原 徳子
関 修
佐藤 紀清（市庁内検討委員会 部会長）
【総務部次長】
橋場 太（市庁内検討委員会 副部会長）
【総務部総務G総括主幹】
- ◆ 欠席部会員 部会員 和泉 薫
遠藤 潤
- ◆ 事務局 沼田総務部企画調整G総括主幹
上野総務部企画調整G企画主幹
大越総務部企画調整G主査
- ◆ 議題 「第2章自然とともに暮らすまち」に関する考え方について

◎事務局

初めに事務局から、今後の部会の進め方について説明したあと、部会長、副部会長の進行で進めていただきたいと思います。

今回の基本計画の策定について、最終的に何を作っていただくかということですが、皆さんにお配りしている、第3期基本計画体系図（案）を整理して作っていただくこととなります。内容についてですが、第2章【自然とともに暮らすまち】という部分については、平成8年に策定した登別市基本構想でおおよそ50年先のことを定めているものですので、変更はできません。しかし、【政策】から、【主要な施策】までは変更が可能です。【主要な施策の考え方】については、【主要な施策】の進め方を記載しています。ですから、ここの細かな修正は必要ありませんが、【主要な施策】を進めるためには、考え方に不足しているものがないのかなどのご意見があればいただきたいと思います。

一番右には【主な事務事業】という欄がありますが、参考までに実際に関連する事務事業名を掲載しているものですので、「この政策を実現するためにこの事業をするべきだ。」などの議論は必要ありません。

最終的には、この体系図（案）を整えていただき、体系図に盛り込めないが、部会の思いや「行政（市民）はこれをやるべきだ」ということなどは、提言書としてまとめていただくこととなります。

行政では、全て計画に盛り込むことはできないかも知れませんが、皆さんの意向を踏まえた中で第3期基本計画を策定していきます。

ちなみに、市役所内でも、市民検討委員会と同様にいろいろな部局の管理職で構成する6つの部会を組織し、皆さんがお持ちになっている資料と同じ資料を用い、同時進行で検討を進めております。本日は、庁内検討委員会防災・環境部会の部会長である佐藤総務部次長と副部会長の橋場総務部総務G総括主幹が出席しております。

今後の進め方ですが、いきなり体系図（案）の検討に入っても、皆さん初対面の方もいるかと思いますので、これまでどのような活動をしてきたのか、今後の登別をどうしたら住みよいまちにして行けるのかなど、皆さんの思いを語っていただき、人となりを共有されたうえで、今後の体系図（案）の検討に入っていければと思います。

全体会議でもお話しさせていただいておりますが、このような会議は、つまらない会議になると誰も来なくなります。特に今回は、部会員の人数も少ないです。ですから、なるべく皆さんの意見を共有しながら、皆さん楽しく実りある話ができたと最後に思えるようにしたいと思いますので、「人の意見を否定しない。」「一人で長々と話さない。」などのルールで進めていただきたいと思います。

市役所職員も対等な立場で参加しますので、ただ市民の意見を聞くだけでなく、疑問点などは、どんどん市民にも問いかけていきます。

実際に体系図（案）の検討に入ることになりましたら、庁内部会長、副部会長が上から順に説明することになりますので、10年後さらにはその先まで対応できる内容になっているかなどの検討をお願いします。

会議は、月2回程度で来年2月までにまとめていきたいと思います。

事務局からの説明は以上ですので、この後の進行については、部会長よろしくをお願いします。

◎部会長

今日は部会員2人が欠席です。私は部会長の役は初めてで、全体会議で配られた資料も簡単に目を通した程度のため、今日ここに来るのも足取りが重かったのが正直なところです。

初対面の方も多いと思いますので、お互いのことが分かった上で、意見を聴きながら仕上げていきたいと思います。市の協力もいただきながら、皆さんよ

ろしくお願ひします。

事務局から説明がありましたが、いきなり体系図には入らないで、皆さんの思いなどを語っていただきたいと思います。はじめに、この会議の終了時間を決めておきたいと思ひます。

それでは、席の順にご発言をお願ひします。

◎部会員

「登別環づくり市民委員会」からの推薦でまいりました。クリンクルセンター内で、日鉄住金環境プラントソリューションズ株式会社の所長を務めさせていただひています。部会の中では、環境の面で汚染のことなどについて考えていきたいと思ひます。

◎部会員

町内会で防災担当などを担っています。市民検討委員会やこの部会には、こう思っているから参加した、というわけではありません。私たち人間は間違いを犯すことがあり、防災や環境は人間の力ではどうしようもないことが多いのですが、皆さんの考えを勉強させていただひいて、町内会の活動にも生かしていきたいと思ひます。

◎部会長

「登別市暴力追放運動推進団体連絡協議会」の会長を務めています。もう1期、会長職を担うことになりました。「室蘭登別防犯協会連合会」の副会長も務め、「登別市連合町内会」の役員も10年以上務めています。

昨年1月、市内で発砲事件が発生したときには、『暴力追放総決起集会』を開催し、市民270人が集まりました。道警の協力により音楽隊やカラーガード隊も来てくれ、盛大に開くことができました。

今後も、防災・防犯など皆さんの力になりたいと考えています。

◎副部会長

「登別市衛生団体連合会」からの推薦でまいりました。クリンクルセンターを何回も見えています。防災の面においては、市長から消防署の移転に関する私案が出ています。防災関係も、皆さんの意見を尊重して何かやると、膨大な金額になります。環境についても、「(仮称)登別市景観・緑化条例検討市民会議」が開かれていて、整合を図らなければいけません。

長丁場になりますが、良い計画をつくっていききたいと思ひます。

◎部会員

「登別消費者協会」の副会長を務めています。クリンクルセンターができる前は、協会も勉強して提言したこともあります。二酸化炭素削減のための活動もしていて、環境家計簿で電気・ガソリン・灯油の量や料金を記録して、減らす取り組みをしています。今回は防災もあり、あまり知識はありませんが、一緒に勉強していきたいと思います。

◎市庁内検討委員会部会長

庁内検討委員会の防災・環境部会は、既に7・8回開催し、土木・下水道・環境対策・消防・都市計画・防災などを担当する20人近いで構成しています。議論は、まとまるには至っていません。

私は総務部次長として防災なども担当して1年と少しになりますが、全て分かっているわけではありません。財政担当にもいたことがあり、なるべくお金を使わないようにという方針に部署にいましたが、できるだけ市民の夢が広がる計画にしていきたいと思います。

◎市庁内検討委員会副部会長

10年前になりますが、2年間、防災担当をしていました。当時はよく気象警報が出て、十勝沖地震や大型台風の対応にも当たりました。

環境の経験はあまりありませんが、皆さんと勉強しながら、議論を進めていきたいと思います。

◎事務局

部会には必ず事務局も出席します。事務局や庁内検討委員会部会長・副部会長からも、いろいろと思いを発言させていただきます。体系図の話に移りましたら、順番に庁内検討委員会部会長・副部会長から説明させていただきます。さまざまな部局の担当者が集まった庁内検討委員会の部会の議論で出た変更点の説明も行います。

この部会では、防災や環境のテーマを扱います。これから人口が減り、子どもも減り、高齢者が増えます。こういったことも念頭に、どこまで防災や環境に力を入れていくのか、防災に取り組んでいる部会員もいらっしやいますので、これから高齢者が増えていくが防災にどう取り組んでいくかなど、議論をお願いします。

◎部会員

具体的にどう進めていくのか、イメージがわかりません。

◎事務局

体系図からお話ししますと、皆さんに第2期基本計画の冊子のコピーをお配りしています。第3期基本計画は平成28年度から10年間の計画になりますが、第2期基本計画を基にして書き換えたものが「第3期基本計画（案）」になります。

庁内検討委員会では、自分の部局のみではなく他部局の職員とも意見交換して、市としてどうなのかと「第3期基本計画（案）」の議論を続けています。例えば、施策の基本的な方向の中に「環境保全意識の醸成」がありますが、その下の主要な施策である「環境教育の推進」、「環境保全団体や自治体間等の連携強化と活動の推進」、「環境に配慮した消費行動の推進」が、「環境保全意識の醸成」を進めるに当たって、今後10年間にわたって市民にも理解してもらうことを念頭に、「このままで良い」、「この内容では足りない」、「もう少しこう言った方がいいのでは」などの議論を経て、最終的には環境への負荷の少ないまちをつくるといった案や大きな目標につながっていくのだろうか、という見方をいただければと思います。

市民検討委員会防災・環境部会で議論を進めるとき、例えば環境から話を始めた方が皆さんやりやすいのか、防災から始めた方がやりやすいのか、それは皆さんで話し合って進めていただいてもかまいません。

◎部会員

我々、市民検討委員会の部会では、「政策」、「施策」、「施策の基本的な目標」、「主要な施策」を検討すると言われていますが。

◎事務局

体系図とは、「政策」、「施策」、「施策の基本的な目標」、「主要な施策」を指しています。「主要な施策」の下にある「主要な施策の考え方」は、「主要な施策」の中身について記載しています。ここに記載していることで、「この内容では足りないのではないか」、「ここはこう修正した方がいいのではないか」などという話は、体系図のこととは別ですが、ご意見としてお話しただいて、庁内検討委員会でも検討させていただきます。

今回の話し合いの中では、「自分はこう思っているから、それに沿うように書け」などという話は、お金がかかりますし、まちがつぶれてしまいます。「そんな話し合いは無駄ではないか」ということではなく、「無理なものは無理で、その理由はこうですよ」という話をしながら進めていきたいと考えています。

「主な事務事業」については、実際にどんな施策をやっているかを参考として記載しています。この欄に事務事業を入れて、具体的に何か事業をやりな

いうことではありません。

◎部会員

施策の考え方については、足りないのではないかというのは言っていないですね。

◎事務局

第2期基本計画から変えるところが何もなければ、第3期基本計画でもそのままにするという手法もあります。ただ、このまちは、向こう10年間、そのまま大丈夫なのかというところを、市民目線での議論をお願いしたいと考えています。

議論の結果、中身が大きく変わってもかまいません。市民検討委員会からの提言どおりになるかは分かりませんが、意図は酌んで調整したいと思います。

◎副部長

第2期基本計画をベースに、第3期基本計画に文言を追加したり、取り除いたりしていくということは、第2期基本計画を全て無視するというということではないということですね。

◎事務局

第2期基本計画の文言に上乘せしたり、取り除いたりすることが、今回の見直しのポイントです。

◎部会員

調整過程付というのが原案ベースで、市民検討委員会と庁内検討委員会で議論していくということですか。

◎事務局

調整過程付は、担当部局から出てきた見直し案を掲載したものです。現在進めている庁内検討委員会での議論の結果は、反映されていません。

今後、体系図の議論に入っていきましたら、庁内検討委員会の部会長から、庁内では今このように修正していますなどのお話をしながら、市民検討委員会の部会員の皆様のご意見をいただいています。

庁内検討委員会では、文言の見直しに当たっては、何となく修正したではなく、第2期基本計画からの修正する理由も議論しています。

◎副部会長

自分は第1期基本計画の策定時に関わらせてもらいました。特に最近は、世の中のサイクルが非常に早いと感じています。第1期基本計画と第2期基本計画では、各10年間の計画期間中に見直しを行ったことはありますか。

◎事務局

第1期基本計画は見直していませんが、第2期基本計画は5年経過時に中間点検を行い、文言を一部修正しています。世の中の激変しない限り、1度つくったら基本は10年と考えています。

副部会長のご指摘のように、世の中の動きは確かに早く、10年間全く同じ状況のことが少ないと思います。第3期基本計画では、大きな政策の方向性は変わらないと思いますが、逆に今から向こう10年の間に見込まれる事項については、計画に盛り込んでいく考えです。

◎部会長

基本計画が10年間というのは長く、5年間でも良いのではないかと思うことがあります。

◎事務局

10年計画の長所は、例えば橋の建設では期間が短いため、5年間の計画では計画期間中の実現が困難で、これでは夢が描けません。ある程度の期間を取りながら、大きなものを盛り込んで着々とやっていこうというのがこの基本計画です。数年間で実現できそうなものについては、小さな別の計画でやっていこうと分けて考えています。

◎市庁内検討委員会部会長

10年後という先のことでもあるので、なかなかはっきりと基本計画に書けないこともあります。

庁内検討委員会では、例えば「ゲリラ豪雨」のように最近出てきた言葉を、浸水対策として新たにどのように盛り込もうか、などの議論もしています。現在、若草町や新生町で排水対策を実施していますが、今後も実施していただくという前提で検討を進めていますが、基本的には具体的に「これをやります」というのは、はっきりと将来を見通せないものについては、なかなか書けないのが実態です。

また、し尿処理場を廃止して、下水道処理施設の横に、し尿投入施設をつくりました。第2期基本計画で「〇〇施設を建てます」などと記載している部分

は、施設が完成していれば削除していますし、消防庁舎についても新しくしますなどと言えるのか、議論している最中です。

◎副部長

海側から山側へ行く場合、踏切を通る必要があり、消防車も時間がかかります。昨年の地区懇談会では、市長が私案として高架橋の話をしていましたし、消防の分野で室蘭市と連携する話もありました。消防の広域化の話は頓挫してしまったのですか。

◎市庁内検討委員会部会長

登別市・室蘭市それぞれの境界付近の地域で、消防車・救急車が協力して出動する協定は、広域化したとしても続くのではないかと思います。

消防が今の規模のままで良いのか、議論は必要だと考えています。もちろん広域化したとしても、メリットとデメリットがあります。現在は各市で消防職員を採用していますが、大きなところで一括採用すれば、登別市・室蘭市・伊達市をまたいで職員を配置できるメリットもあります。

室蘭市の消防職員は分業制ですが、登別市の消防職員は指令や運転など何でもやるスーパーマンです。広域化すると分業制になるとと思いますが、そうすると職員数を増やさないとはいけません。

◎副部長

消防職員の採用で、登別市で不合格になった人が、室蘭市で合格した例を聞いたことがあります。

◎部会員

消防職員本人が、消防の広域化はデメリットが大きいと話していたことがあります。

◎市庁内検討委員会部会長

若い消防職員の話は聞いていませんが、管理職からはデメリットの話が多いように思います。

◎副部長

10年後には今よりも市の人口が減っていることが確実のように思う。人口を増やす手立てを考えて、基本計画をつくらないといけないのではないかと思います。

◎市庁内検討委員会部会長

出生率のこともあり、人口は国全体で減少しています。増やすのは至難の業で、減らさないようにするのが大事だと思います。

◎副部会長

日中の登別市民は、室蘭市内に働きに行っている人が多いですね。

◎市庁内検討委員会部会長

市の歳入のうち、概算ですが、市税と地方交付税で 50 億円ずつを占めています。仮に市の人口が 20%減少したら、市税も地方交付税も 10 億円ずつの計 20 億円減少します。市の工事請負費は年間 20 億円に満たないので、工事ができなくなる計算になります。人口を減らさないことがまずは大事です。

◎部会員

若い女性が田舎から出て、都市に流出しています。男性だけではなく、若い女性も地域につなぎ止める要素が必要だと思います。

◎副部会長

この部会には若い方も参加していますが、何か心配はありませんか。

◎部会員

企業誘致だけで人口減を食い止められるのか、大きな学校があれば若い人が残ってくれるのか、という思いはあります。人口が減るとごみが減ります。減量化は良いですが、私にとっては収入に直結する問題です。

◎市庁内検討委員会部会長

クリンクルセンターでは、再び白老町のごみを受け入れるようになりましたね。

◎部会員

処理するごみの量が 5,000 トンから 6,000 トンになりました。クリンクルセンターは、白老町のごみ受け入れを前提に建設していないので、ごみピットが狭い状態です。平成 24 年 11 月の大規模停電の後、大量のごみが運び込まれ大変でした。白老町のごみもあつたらパンクしていました。

処理量とともに稼働時間も増えますので、中間改修事業も見直しが必要かも知れませんね。

将来、クリンクルセンターに替わる新たな施設を建てるのか、西いぶり広域連合と合流するのか、考えていく必要があるのではないのでしょうか。

◎市庁内検討委員会部会長

登別市と西いぶり広域連合の施設の耐用年数・更新時期が一致すればいいのですけどね。

◎部会員

クリンクルセンターは、施設の延命化で30年維持しようとしています。あと15年あります。

◎部会員

クリンクルセンターは、以前からメンテナンスをしていましたね。

◎副部会長

東日本大震災のとき、海岸に漂流物がいっぱい流れ着きました。地域住民で流木の処理はできないので、北海道に処理を依頼したら断られました。

◎部会員

主に町内会が指定管理者になっている老人憩の家の修繕費は、どれくらいあるのですか？

◎市庁内検討委員会部会長

老人憩の家は、約40カ所あり、修繕費は概算で年間800万円程度の予算しかありません。

◎副部会長

老人憩の家を管理していてもデメリットがあります。電話を外すなど、出費を減らそうとしています。LED電球を導入して電気代の節約にも取り組んでいます。海が近い地域だとどのくらいの期間使用できるのか不安もあります。

ですが、LED電球は環境にいいですね。去年の夏、マイマイガが大量発生しましたが、LED電球には寄ってきませんでした。クリンクルセンターにマイマイガの対策を問い合わせたら、水をかけるよう言われましたが、高い場所は困難です。

◎部会長

マイマイガは、私のところではブラシを使わないと、なかなか落ちてきませんでした。

そろそろ予定の時間も近づいてきましたので、次回の日程を調整して終わりたいと思いますが、いかがでしょうか。

◎部会長

それでは、皆さんの予定を勘案し6月30日（月）18時30分から市民活動センターで開催したいと思います。後日、事務局から改めて通知します。

次回も今回と同じように皆さんの思いをお話しいただきたいと思います。

以上で会議を終了します。ありがとうございました。